

◆◆◆夏休みの友◆◆◆

■「夏休みの友」。

「何それ？」という方もいらっしゃるでしょう。
私が小学生のころ。今からざっと半世紀近く前のこと。
夏休みの宿題はこれでした。
これだけ、だったように記憶しています。
夏休みの友。

「友」というほどに親しみを持つことはできません
でしたが今ふりかえると懐かしい。

■夏休みの友。

ウィキペディアによると次のように説明されていました。



「夏休みの友」とは、日本において主に公立小中学生を対象に夏休みの宿題として課される夏休み課題用冊子のことである。学校によっては「夏の友」「夏の生活」「夏休み帳」などの名前が付けられている場合もある。

大きくは、学習参考書メーカーから市販されているものと、都道府県単位で教育関係者が寄り集まって編集、発行しているものとがあり、学校や学年によって採否が異なる。

近年では「サマースキル」「スキルアップサマー」「夏休みのスキル」などのようなカタカナの冊子名となっている場合もある。

夏休みのスキル？

と、言うことは「夏休みの友」が名前をかえて今の時代に生き続けているのかな…。

いや、やっぱり今も「夏休みの友」という名前の冊子がありました。

地域や教材メーカーによって名前はいろいろ。

「夏休みの友」は名前やかたちを変えて今も子どもたちに愛され？ているようです。



■夏休みの友。

内容は実に多様でした。国語、算数はもちろん、全ての教科の内容が盛り込まれていました。なので一冊で基礎的内容の復習、習熟も、調査研究、作品づくりもすべてできるものでした。

小学生の私にはめんどくさいものでしたが、教師としてふりかえると本当によくできた冊子だったと思います。ただ。小学生の私を悩ましたのが「天気」を書く欄。

ツクツクボウシが鳴き出すころにあわててやっていなかったページをするのですが、その日の天気が分からない。あと数日で二学期始業式、というときに近くの親戚の兄ちゃんの家に行き、天気を教えてもらうのが恒例行事となっていました…。

さあ、いよいよ明後日から夏休みです。